目 次

(※ は、 県例規集登載事項

条

※福井県民生委員定数条例の一部を改 福井県児童福祉施設の設備および運 正する条例 (三六・地域福祉課) ……]

※福井県産業振興施設の設置および管 条例(三八・地域産業・技術振興課 理に関する条例等の一部を改正する

する条例(三七・子ども家庭課)……二 営の基準に関する条例の一部を改正

※福井県立体育施設の設置および管理 および管理に関する条例(三九・地

※ふくい農業ビジネスセンターの設置

四〇・スポーツ保健課) 家設置条例の一部を改正する条例(に関する条例および福井県立青年の Ħ.

(福井県警察本部の部制に関する条例

の一部を改正する条例 (四一・警察

本部警務課) ·:·

本号で公布された 条例のあらまし

◇福井県民生委員定数条例の一部を改正する 条例 (第三十六号 地域福祉課)

2 この条例は、平成二十八年十二月一日か 民生委員の定数を改正することとした。 民生委員の任期満了に伴い、市町ごとの

ら施行することとした。

〉福井県児童福祉施設の設備および運営の基 三十七号 子ども家庭課) 準に関する条例の一部を改正する条例 第

2

四号)の一部改正に伴い、情緒障害児短期 することとした。 治療施設の名称を児童心理治療施設に変更 児童福祉法(昭和二十二年法律第百六十

2 この条例は、一部の規定を除き、平成一 ◇福井県産業振興施設の設置および管理に関 する条例等の一部を改正する条例 八号 地域産業・技術振興課 十九年四月一日から施行することとした。 第三十

関する条例の一部改正関係 の整備に伴い、利用料金の新設等を行うこ 福井県産業振興施設の設置および管理に 福井県産業振興施設(サンドー ム福井

ととした。 福井県工業技術センター設置条例の一 (第八条および別表関係) 部

市を追加することとした。 福井県工業技術センターの所在地に越前 (第二条関係)

2 8 成 火·金曜日

年 発行

10月14日(金) 1月1,800円郵送料共

◇ふくい農業ビジネスセンターの設置および 1 日から施行することとした。 管理に関する条例(第三十九号 ととした。(別表関係) 伴い、使用料および手数料の新設を行うこ 数料徴収条例の一部改正関係 この条例は、平成二十八年十一月二十五 福井県工業技術センターの設備の整備に

ととした。 以下「センター」という。)を設置するこ 図るため、ふくい農業ビジネスセンター 続的かつ健全な発展および地域の活性化を の支援を行うことにより、もって農業の持 に、農業資源および農産物を活用した交流 (第二条関係) センターは、越前市に置くこととした。 農業経営に携わる人材を育成するととも (第一条関係)

3 条関係 施その他の業務を行うこととした。 センターは、農業経営に関する研修の実 (第三

5 用に関し必要な事項を定めることとした。 この条例は、公布の日から施行すること (第四条~第八条関係) 使用の承認、使用料その他センターの利

◇福井県立体育施設の設置および管理に関す る条例および福井県立青年の家設置条例の 一部を改正する条例(第四十号 教育庁ス

する条例の一部改正関係 指定管理者制度を導入することとした。 福井県立体育施設の設置および管理に関 体育施設として福井県立艇庫を規定し、 第三条、 第六条、 第九条から第十

条までおよび別表関係

福井県工業技術センター使用料および手 福井県立青年の家設置条例の一部改正関

することとした。 条および別表関係 福井県立三方青年の家艇庫の規定を廃止 第三条、第六

施行期日

この条例は、平成二十九年四月一日

◇福井県警察本部の部制に関する条例の一部 施行することとした。 を改正する条例(第四十一号 警察本部警

地域農業

等に関することを追加することとした。 警務部の所掌事務に国外犯罪被害弔慰金

から施行することとした。 この条例は、平成二十八年十一月三十日

2

例

条例を公布する。 福井県民生委員定数条例の一部を改正する 平成二十八年十月十四日

福井県条例第三十六号 福井県知事 西川

誠

福井県民生委員定数条例の一部を改正

井県条例第五十八号)の一部を次のように改 福井県民生委員定数条例(平成二十六年福

七人」に、「一八一人」を「一九一人」に、 一六人」に、「五四人」を「五六人」に改め 」を「一○○人」に、「一二一人」を「一二 「五三人」を「五四人」に、「一七人」を「 本則の表中「四九四人」を「四九九人」に 「一四五人」を「一四六人」に、「九九人 よび第十号」に改める。

施行する。 この条例は、 平成二十八年十二月一日から

準に関する条例の一部を改正する条例を公布 福井県児童福祉施設の設備および運営の基

平成二十八年十月十四日

福井県知事 西川 誠

福井県条例第三十七号

福井県児童福祉施設の設備および運営 の基準に関する条例の一部を改正する

七十三号)の一部を次のように改正する。 目次、第十六条および第二十条第二項中「 福井県児童福祉施設の設備および運営の基 (平成二十四年福井県条例第

情緒障害児短期治療施設」を「児童心理治療 」に改める

。)」に、「同条第三項第二号、第三号およ き、同号に規定する構造を有するものに限る び第九号」を「同条第三項第三号、 三項第二号に規定する構造を有する場合を除)を有する付室」を「付室(階段室が同条第 することができると認められるものに限る。 めた構造方法を用いるものその他有効に排煙 条第三項第一号に規定する国土交通大臣が定 表四階以上の部避難用の項中「外気に向かっ 第二号、第三号および第九号」を「同条第三 項および三階の部避難用の項中「同条第三項 項第三号、第四号および第十号」に改め、同 て開くことのできる窓もしくは排煙設備(同 を「第十三条第三項各号」に改める。 第四十五条第五号ロの表二階の部避難用の 第二十八条第二項中「第十三条第二項各号 第四号お

務教育学校」を加える。 に「、義務教育学校」を加える。 を「第十三条第三項各号」に改める。 第五十八条第二項中「第十三条第二項各号 第六十条第九号中「中学校」の下に「、 第五十四条第二項第五号中「中学校」の下

第九十一条各号列記以外の部分中「情緒障 第十二章の章名を次のように改める。 第十二章 児童心理治療施設

害児短期治療施設」を「児童心理治療施設」

に改める。

心理治療施設」に改める。 五項中「情緒障害児短期治療施設」を 」を「第十三条第三項各号」に改め、 童心理治療施設」に、 施設」を「児童心理治療施設」に改め、同条 第四項中「情緒障害児短期治療施設」を「児 第九十二条第一項中「情緒障害児短期治療 「第十三条第二項各号 同条第 「児童

> 障害児短期治療施設」を「児童心理治療施設 九十四条から第九十八条までの規定中「情緒 に改める。 第九十三条の見出しおよび同条ならびに第

務教育学校」を加える。 「第十三条第三項各号」に改める。 第百二条第八号中「中学校」の下に「、 第百条第二項中「第十三条第二項各号」を 義

期治療施設」を「児童心理治療施設」に改め 」を「第十三条第三項各号」に改める。 附則第八項および第九項中「情緒障害児短 第百十一条第二項中「第十三条第二項各号

それぞれ当該各号に定める日から施行する この条例は、次の各号に掲げる区分に応じ

びに第百条第二項、第百二条第八号およ 三項各号」に改める部分に限る。)なら び第百十一条第二項の改正規定 正規定、第九十二条第四項の改正規定(十八条第二項および第六十条第九号の改 口の表、第五十四条第二項第五号、 「第十三条第二項各号」を「第十三条第 第二十八条第二項、第四十五条第五号 公布の 第五

二 前号に掲げる規定以外の規定 十九年四月一日 平成二

する条例等の一部を改正する条例を公布する 福井県産業振興施設の設置および管理に関

福井県条例第三十八号 福井県知事

誠

平成二十八年十月十四

福井県産業振興施設の設置および管理 に関する条例等の一部を改正する条例

> 関する条例の一部改正 (福井県産業振興施設の設置および管理に

第八条第一項ただし書を削る。 別表第一管理会議棟の部特別会議室の 同部に次のように加える。

第一条 号)の一部を次のように改正する。 理に関する条例(平成七年福井県条例第七 福井県産業振興施設の設置および管

第二条 福井県工業技術センター設置条例 第三条 福井県工業技術センター使用料およ える。 うに加える。 次のように加える。 表フルカラー三次元プリンターの項の次に ザの項の次に次のように加える。 第三号)の一部を次のように改正する。 のように改正する。 昭和六十年福井県条例第二号)の一部を次 目的エリア」に改め、同部デザイン展示コ リーの項中「産業観光ギャラリー」を「多 五、三四〇」を「二、七〇〇」に改め、同 び手数料徴収条例(昭和六十年福井県条例 数料徴収条例の一部改正) を加える。 を「、CADシステムおよび電気炉」に (福井県工業技術センター使用料および手 (福井県工業技術センター設置条例の一部 ナーの項を削る。 別表第四管理会議棟の部産業観光ギャラ 別表第三管理会議棟の部に次のように加 別表第三イベントホール棟の部に次のよ 別表第一第一号の表光造形装置の項中「 別表第一第一号の表RF励起CO2レー 第二条中「福井市」の下に「、越前市」 別表第三備考中「およびCADシステム 無線LAN設備 レーザカッター 000 時間につき 匹 台 式 000 四 Ó 四〇〇 000 六〇〇 000 100 第一条 農業経営に携わる人材を育成すると 第三条 センターは、次に掲げる業務を行う 第二条 センターは、越前市に置く。 福井県条例第三十九号 管理に関する条例を公布する。 から施行する。 る。 一(以下「センター」という。)を設置す 化を図るため、ふくい農業ビジネスセンタ の持続的かつ健全な発展および地域の活性 交流の支援を行うことにより、もって農業 ともに、農業資源および農産物を活用した ふくい農業ビジネスセンターの設置および この条例は、平成二十八年十一月二十五日 ターニング装置の項の次に次のように加え を「五、〇〇〇」に改める。 平成二十八年十月十四日 に関する支援の実施 別表第二の三の項1次(1)中「七、 別表第一第一号の表インクジェット式パ UV プリンター 石膏積層造形装置 農業資源および農産物を活用した交流 前二号に掲げる業務を行うために必要 附則 農業経営に関する研修の実施 よび管理に関する条例 ふくい農業ビジネスセンターの設置お 福井県知事 西川 誠 時間につき 時間につき

四〇〇

五〇〇

ことができる。

第七条 知事は、特に必要があると認めると

(使用料の免除)

きは、使用料の全部または一部を免除する

第四条 センターの施設または設備を使用し ばならない。 ようとする者は、 (使用料) (使用の承認) の設置の目的にふさわしい業務 な施設または設備の提供 前三号に掲げるもののほか、センター 知事の承認を受けなけれ

第五条 センターを使用する者 (以下「使用 第六条 既に納付した使用料は、還付しない 。ただし、知事が特に必要があると認める ときは、この限りでない。 納付しなければならない。 者」という。)は、別表に掲げる使用料を (使用料の不還付)

(規則への委任)

第八条 この条例に定めるもののほか、この める。 条例の施行に関し必要な事項は、規則で定

別表 (第五条関係) この条例は、公布の日から施行する。

		金	額		
区分	午前九時から	午後一時から	午後五時から	午前九時から	摘要
	午後一時まで	午後五時まで	午後九時まで	午後九時まで	
大研修室	1、六〇〇円	1、六〇〇円	11、七〇〇円	五、四〇〇円	使用者が冷暖房
視聴覚研修室	1、100円	1、100円	一、八〇〇円	三、七〇〇円	設備を使用する場
中研修室〇	1、100円		一、八〇〇円	三、七〇〇円	合は、上記の金額
中研修室□	1、100円	1、100円	一、八〇〇円	三、七〇〇円	にその十分の二に
小研修室	1、000円	1、000円	一、五〇〇円	三、四〇〇円	相当する額を加算
調理実習室	一、八〇〇円	一、八〇〇円	二、一〇〇円	五、六〇〇円	した額とする。

い業務

第一条 福井県立体育施設の設置および管理

する条例の一部改正)

(福井県立体育施設の設置および管理に関

に関する条例(昭和四十八年福井県条例第

第二条の表に次のように加える。 六号)の一部を次のように改正する。

第三条の表に次のように加える。

福井県立艇庫

漕艇に関する指導および助言漕艇に必要な施設および設備の提供

前二号に掲げるもののほか、設置の目的にふさわし

福井県立艇庫

第九条第四号中「またはホッケー」を「七 福井県立艇庫 第六条第一項に次の一号を加える。

福井県条例第四十号 部を改正する条例を公布する。 る条例および福井県立青年の家設置条例の 福井県立体育施設の設置および管理に関す 体育館 宿泊室 平成二十八年十月十四日 関する条例および福井県立青年の家設 置条例の一部を改正する条例 福井県立体育施設の設置および管理に 福井県知事 西川 一誠 人一泊につき 中学生以下の者 その他 000円 000円 六 000円 三、〇〇〇円 一、五〇〇円 000円 2 三歳未満の者 1 をいう。 料とする。 これに類する者 学する者その他 は、中学校に在 の使用料は、 「中学生」と

第十一条第一項第一号中「および福井県四 福井県立艇庫 午前八時三十分から 午後五時まで

別表に次のように加える。

附 則

													立艇庫	福井県
		1	トレー									研修室		審判艇
			トレーニングル		場合	用する	して使	四分割		る場合	使用す	全部を		
		つき	一人に				につき	三区画	間帯一時	午前おと	午後	午前		一艇一口
	午後		午前	時間につき	以外の時間帯一	午前および午後	午後	午前	時間につき	午前および午後以外の時				艇一日につき
学生等	一般	学生等	一般								三、	=;		四、
六〇円	四〇円	六〇円	一四〇円			一九〇円	七六〇円	六七〇円		七五〇円	〇三〇円	六五〇円		〇 一 〇 円
						九〇円とする。	る額を加算した額	十分の二に相当す	は、承認額にその	合の利用料金の額	設備を使用する場	利用者が冷暖房	の負担とする。	燃料は、利用者

井県立ライフル射撃場および福井県立艇庫 射撃場にあつては、午後五時十五分)」を ら午後五時」の下に「(福井県立ライフル にあつては、午前八時三十分)」を、 別表備考3中「午前九時」の下に「(福 ーか

第二条 福井県立青年の家設置条例 (昭和三 うに改正する。 十八年福井県条例第七号)の一部を次のよ (福井県立青年の家設置条例の一部改正)

設置」を削り、同条第二項および第三項を 第二条の見出し中「ならびに附属施設の

第三条第二項を削る。

を使用する者は別表第二に掲げる使用料を を削る。 別表第一」を「別表」に改め、 第六条中「(艇庫を除く。)」を削り、 「、艇庫

別表第二を削り、 別表第一を別表とする

> を改正する条例を公布する。 福井県警察本部の部制に関する条例の

きる。

正後の条例の規定の例により行うことがで は、この条例の施行の日前においても、改 改正後の条例を施行するために必要な行為

に関し必要な手続、利用料金の承認その他

の規定による指定管理者の指定およびこれ の項において「改正後の条例」という。) 設の設置および管理に関する条例(以下こ

平成二十八年十月十四日

福井県知事 西川

誠

福井県条例第四十一号

福井県警察本部の部制に関する条例 部を改正する条例

のように改正する。 二十九年福井県条例第三十五号)の一部を次 福井県警察本部の部制に関する条例(昭和

十一号とし、第十九号の次に次の一号を加え 二十一号を第二十二号とし、第二十号を第二 第三条中第二十二号を第二十三号とし、第

二十 る法律(平成二十八年法律第七十三号) に関すること。 第三条に規定する国外犯罪被害弔慰金等 国外犯罪被害弔慰金等の支給に関す

ら施行する。 この条例は、平成二十八年十一月三十日か

高桑印刷㈱ 福 井

☎◎六三二二番

県

平成二十八年十月十四日発平成二十八年十月十四日印 行刷 印刷人 発行人 〒九一○一八五八○ 〒九一〇一〇〇一七 福井県福井市大手三丁目十七番一号 福井県福井市文京一丁目十九—二十

(施行期日)

施行する。ただし、 この条例は、平成二十九年四月一日から 次項の規定は、 公布の

(準備行為)

2 この条例による改正後の福井県立体育施

1 日から施行する。